

滋賀県下で採集された アジメドジョウについて

伏 木 省 三

アジメドジョウ *Cobitis delicata* Niwa は本州中部の河川のみに棲むドジョウ科の魚類で、美味しい魚として局地的にはかなりその名が知られている。その地理的分布は琵琶湖淀川水系に於いては僅かに木津川上流の三重県下に属する服部川（丹羽 1955）のみとなつている。したがって滋賀県下からは未記録となつている。筆者は滋賀県下の河川を調査中、琵琶湖を受水区域とする同県下の野洲川上流より本種を採集し得て、その分布を確認したので、その経過を報告する。

本種の査定には資源科学研究所 中村守純博士の御指導をいただいた、ここに感謝の意を表わす次第である。

採集地 : 甲賀郡土山町（野洲川本流、田村川合流地点）

甲賀郡土山町字大野地内、野洲川本流

採集月日 : 昭和37年11月22日

採集方法 : ドジョウカキ

採集尾数 : 11尾

大きさ : 全長36.0~63.0mm（11尾測定、平均45.4mm）

形態 : D-8 A-6 尾鰭を横切る帯状の斑紋の列数が2列であり、いわゆる表日本型であると思われる

採集場所の環境 : 水深 10~15cm

流速 2m/sec

川床 径15cm以上の礫30%、径5~15cmの礫30%、5cm以下の礫及び砂40%

水温 12.5°C

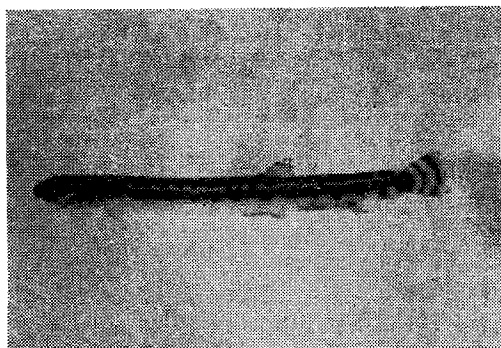
混獲採集魚 カワヨシノボリ、カジカ

本種は水深の浅い清澄な急流の瀬で川床が礫の場所を好んで生活しているようである。

分布 : 今回の調査で野洲川上流の土山町鮎河より石部町間に分布していることが判明した

が野洲川支流の杣川、野洲川下流の野洲町附近及び県下の他の河川については未調査である。

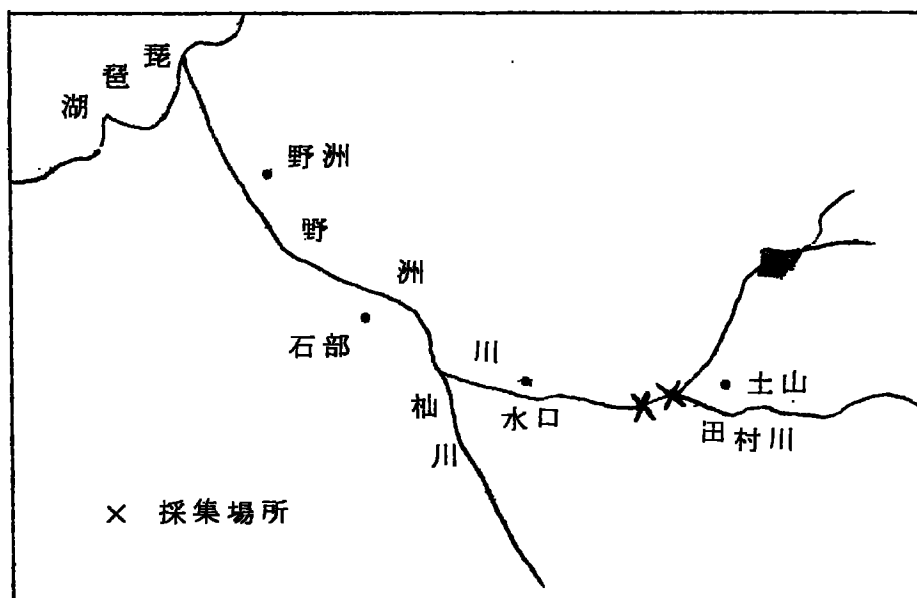
方言：本種は土山町、水口町、石部町地域ではスジシマドジョウ、シマドジョウとを含めて一般にドジョウと呼ばれドジョウカキでカワヨシトボリと混獲されるが、その量は少ない。



滋賀県下で採集されたアジメドジョウ

全長 59mm

38年8月2日 水口町採集



第1図

滋賀県におけるアジメドジョウの採集地

文献

- 1) 丹羽 彌：アジメドジョウの地理的分布
日本生物地理学会会報 16～19, 325～330(1955)